

機織り体験

☎ 市立博物館 21-3380

昔ながらの機織り機を使って機織り体験をしてみませんか。

と き 1月25日(土)、2月22日(土)
10:00~12:00、13:30~15:30
ところ 歴史民俗資料館 2階
定員 各日5人(先着順)
材料費 500円(当日集金)
申し込み 1月5日(日)の9:00から本人(同居の家族は可)が電話で市立博物館へ

富士発・女と男のフォーラム

☎ 男女共同参画室 55-2724

と き 1月15日(水) 10:00~12:00
ところ フィランセ西館 4階大ホール
内容 講演「市民協働で築く男女共同参画センター」
講師 船橋邦子さん(元大阪女子大女性学研究センター教授)
定員 100人(先着順)
受講料 無料
申し込み 1月10日までに電話またはFAX・Eメールで男女共同参画室へ ☎51-2363

☎so-danjo@city.fuji.shizuoka.jp
託児あり(12月25日までに予約)
講演終了後、講師を囲んで会食しながら討論会を行います。希望者は12月25日までに申し込んでください(昼食代として参加費500円程度)。

「20世紀写真のなかの富士 ~近代産業と交通~」展

☎ 市立博物館 21-3380

20世紀の富士市の歩みを写真を通して振り返るシリーズの第3回目です。明治時代から新しく富士市が誕生して間もない昭和40年代までの市内の近代産業と交通に関する写真資料(市民からの公募品・博物館所蔵品など)や、歴史的な資料を展示します。

と き 1月5日~3月2日
ところ 市立博物館

食品表示制度研修会の開催

☎ 男女共同参画室 55-2724

食品表示に関係する小売店の事業者及び従業員が食品表示制度の一層の周知・徹底を図ることを目的に研修会を行います。

と き 1月15日(水) 13:30~15:30
ところ ロゼシアター小ホール
内容 JAS法、景品表示法、食品衛生法
対象 小売店の事業主及び食品表示に携わる従業員など
申し込み はがきまたは電話、FAX、Eメールで、事業者名、連絡先、参加人数を書いて、〒416-0906本市場441-1富士県行政センター総務防災課消費相談担当へ
☎65-2103 ☎65-2104
☎PAC-fuji-soubou@hq.pref.shizuoka.jp

看護師等再就業相談のお知らせ

☎ 中央病院看護部 52-1131 内線2207

~勇気を出して再出発を~

看護職の資格を持ち、再就業を求めている人、医療・福祉施設で看護職を求めている人などの相談を行います。

と き 1月16日(木) 10:00~14:00
ところ 富士宮市保健センター
申し込み 当日直接会場へ(無料)
問い合わせ 静岡県ナースセンター 東部支所 ☎055-920-2088

消費生活相談員を募集します

☎ 男女共同参画室 55-2724

募集人員 1人
雇用期間 平成15年4月1日から1年間 月~金曜日 9:00~16:00
業務 契約上のトラブルや消費生活に関する相談・苦情の受け付け、消費者啓発など
応募資格 消費生活や契約問題に関心があり、住民福祉に情熱がある人。消費生活専門相談員の資格を有することが望ましい
応募方法 1月15日までに履歴書を直接または郵送で〒417-8601富士市役所男女共同参画室へ(後日面接あり)

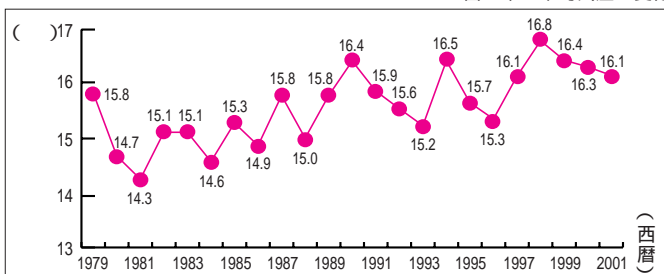
12月の教育委員会会議
12月定例会を次のように開催します
と き 12月20日(金) 13:30~
ところ 市役所 8階政策会議室
☎ 教育総務課 55-2865

環境シリーズ ⑤2

12月は「地球温暖化防止月間」です

19世紀以降、産業の発展に伴い、人類は石油などの化石燃料を大量に消費しているため、大気中の二酸化炭素濃度は200年前と比べて30%も増加しています。このまま同じような活動を続ければ、今世紀末には、二酸化炭素濃度は現在の2倍近くになり、地球の平均気温は1.4~5.8 上昇すると予想されています。富士市でも、1980年代と1990年代のそれぞれの年平均気温を比較すると0.9 上昇しています。

富士市の平均気温の変化



もし、富士市の平均気温が5 上昇すると気候は鹿児島県奄美大島と同じくらいの気候になってしまい、現在の種類の米はとれなくなり、病害虫も増加します。温暖化の影響で南方系の毒グモである「セアカコケグモ」は既に日本に定着してしまったほか、今後、「西ナイル熱」などのような熱帯性の伝染病が心配されます。

二酸化炭素の排出は、私たちの日常生活による部分が大きく、地球温暖化防止のためには、私たちの生活スタイルを変えることが必要です。「不要な物は買わない」、「物を大切に使う」、「節電に心がける」ということが大変重要です。毎日の生活の中で、地球温暖化防止に心がけましょう。

また、ことしは、冬の訪れが大変早まりましたが、寒いほどストーブやファンヒーター、エアコンなどの暖房器具を多く使います。暖房温度を1 下げる、利用時間を短くする、家族が同じ部屋にいるなどの工夫も必要です。

問い合わせ 環境保全課 ☎55-2776